



「活着ていることわざ」

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市飯山満町1-836-5 ☎420-6511 FAX 424-8712
 ホームページ <http://www5e.biglobe.ne.jp/~hiroei/>
 Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

とどのつまり・三遍(べん)回って煙草にしよ

【とどのつまり】◇いろいろあって最後のところ、挙げくの果て。

・鯛(ぼら)は、成長するにつれて名前が変わる「出世魚」で、「はく」「おぼこ」「いな」と変わって、最後の名前を「とど」ということからこの言葉が出た。多くは、おもわしくない結果に対して用いられる。

【三遍回って煙草にしよ】◇念には念を入れて、手落ちがないようにして休め。

・江戸時代の夜回りが、三度見回って異状がないことを確かめたうえで、ひと休みして煙草を一服する、の意。

9月議会が終わりました。今議会からインターネットの生中継と録画中継が始まりました。ご覧になった方もおられると思います。テレビ中継と違い、画像や音声に多少不満がありますが、議会がより身近となる効果はあると思います。

以下、今号から9月議会の報告をします。

①今まで議会には、国旗や市旗が掲揚されていませんでしたが、12月議会から議長席に「飾る」ことが決定しました。3月議会で「議場に国旗を掲揚する」ことが議決されたことを受けたものです。国旗を掲揚す



べきとの意見が以前よりありましたが、一部の党派が強硬に反対し実現できませんでした。反対の理由は「日の丸は戦争を想起する」とか「日の丸は国旗としてふさわしくない」とか、旧態依然の思想を振りかざしているのです。

先のアテネオリンピックで、センターポールに揚がる日の丸に大多数の国民が感激し涙しました。国旗で、白地に赤丸の日本国旗ほど清楚で美しいものはないと確信しています。

しかし『とどのつまり』が、国旗と市旗も議場での「掲揚」ではなく「飾る」ことになってしまったのです。「掲揚」とは、字のごとく「高くかかげあげる」ことのはずですが、国旗はいいが大きいことに抵抗がある会派があり、そうになってしまいました。「飾る」より「置く」という表



現が適当です。なんとも寂しい限りです。私は「玩具のような国旗を議長席に置くのであれば、むしろ今まで通りに何もしないほうがいい」と主張しましたが、少数意見でした。大和魂を持った議員はいないのか!!

②市役所庁舎での喫煙について、市職員への応援歌を述べました。

10月1日から、改正されより厳しくなった「船橋市路上喫煙及びポイ捨て防止条例」が施行されました。

空き缶やごみ、タバコのポイ捨ては規制されて当然です。私は喫煙しているひとりですが、だんだん片身が狭くなってきます。ポイ捨てでも特に許せないのが、車の窓からまだ火がついているタバコを平気で路上に捨てている者がかなりいることです。こんな人間がいるから「喫煙は悪」というイメージになっていることも事実です。



また、「受動喫煙」といって、タバコを吸っている人の隣で、吸わない人が間接的に煙を吸ってしまうことの迷惑も「悪」の大きな要因になっています。

ところで、市役所も例外ではなく、喫煙場所が追いやられ、現在は1・7・11階のみとなっています。分煙対策で喫煙場所は間仕切りで囲われた小部屋の中となっています。また、1階は裏門の出入り口の外でも灰皿を置いています。

この出入り口で喫煙している市職員は、一見さぼっているように思われがちです。また、見た目にも決していい感じはしません。仕事の合間にお茶やコーヒーを飲んで一息つきたくなるのが普通です。喫煙も同様に嗜好品(じょうひん)のひとつです。喫煙場所が限定されているので、わざわざここまで降りて来て喫煙せざるを得ないのに、それこそ片身の狭い思いでタバコを吸っているのです。江戸時代の「いろはがるた」に『三遍回って煙草にしよ』というものがあります。一服することも必要です。



「タバコを止めれば済むことだ」という単純な発想ではなく、自席を離れて遠くの喫煙場所に行くことは、トータルすると大変な時間の無駄にもなります。市職員は喫煙する人もしない人も公平に福利厚生を受ける権利があります。

「分煙対策」を考慮しながら、能率向上をめざして、せめて1階おきに「喫煙部屋」を設置すべきではないか、と要望しました。

ちなみに船橋市には、小さい町の年間予算に匹敵する32億円余の、喫煙者による「タバコ税」の収入があるので。